

かわにし事業ディスカッション事業調書

市民生活の視点	つながり	政 策	関わる				
施 策	市民の声を聴き、情報の共有化に努めます						
事 業 名	広報事業	所管部・課	総合政策部広報室				
テ ー マ	魅力的な広報	作成責任者	室長 米田 勝也				
現在までの 事業の沿革 (社会背景等)	事業開始年度： 根拠法令等： 広報誌は、昭和30年に第1号が発行されて以来、行政のお知らせ記事などを広く市民に周知するため、毎月1回発行してきました。その後、情報量が増えたことに伴い、月1回から月2回に、また4頁から12頁(4頁と8頁)へと発行回数やページ数なども増やしてきました。また、型については、第1号(昭和30年6月5日号)から第1243号(平成21年7月15日号)までタブロイド版で発行し、21年8月号から冊子型に変更しました。 配布方法は、タブロイド時代が主に新聞折り込み、冊子からは宅配で市内全世帯と全事業所に配布しています。						
	読者が必要とする行政情報を的確に、正確に伝えることに加え、行政が抱える課題を特集記事として問題提起することで、市民の皆さんに課題解決に向けてご理解、ご協力をいただき、川西のまちづくりを推進させることを目的としています。						
現在の事業概要	事業の目的	対象者は市民及び市内事業所。なお、広報誌を市ホームページでアップするため、閲覧者の一部が参照している可能性はあります。 数については、広報誌発行部数は概ね70,000部					
	対象者及び対象者数等	対象者は市民及び市内事業所。なお、広報誌を市ホームページでアップするため、閲覧者の一部が参照している可能性はあります。 数については、広報誌発行部数は概ね70,000部					
	事業の実施内容	広報誌はA4版32頁建て(原則)で、月1回発行。配布は全戸宅配としており、市シルバー人材センターと契約しています。配布対象は市内全世帯及び全事業所となります。 また、ボランティア団体等と連携を図りつつ、点字やテープなどの媒体を使用し、視覚障害のある人などに「点字広報」や「声の広報」を発行しています。					
	実施手法 (該当するものに☑を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 指定管理又は業務委託 指定管理者・委託先の種類(市外郭団体 地域(地縁団体等) NPO法人 民間事業者 その他()) <input type="checkbox"/> 補助・支援 補助対象団体等の種類(市外郭団体 地域(地縁団体等) NPO法人 その他()) その他()					
コスト	平成25年度(予算)		内 訳 等				
	事業費	31,336 千円	事業費の内 嘱託職員 人 千円 事業費の内 臨時職員 1 人 1,217 千円				
	職員人件費	27,243 千円	職員構成 概算人件費 従事職員数 (平均人件費×従事職員数)				
	合計	58,579 千円	従事職員 27,243 千円 正職員 3.0 人 再任用 人				
事業費と職員人件費の合計 (財源内訳)	年度		財 源 内 訳(千円)				
	総額(千円)		一般財源	国県支出金	地方債	特定財源(都市計画税)	特定財源(その他)
	H22(決算)	56,857	52,233	1,654		2,970	
	H23(決算)	54,766	50,220	1,530		3,016	
	H24(予算)	57,044	51,551	2,445		3,048	
H25(予算)	58,579	53,434	2,445		2,700		

		節区分	予算額	説明等		
		平成25年度 事業費内訳	賃金	1,217千円	アルバイト賃金	
報償費	534千円		広報誌原稿執筆者謝礼			
旅費	60千円		普通旅費			
需用費	14,806千円		広報誌印刷代1,429万1千円ほか			
役務費	9,555千円		広報誌配布手数料			
委託料	3,014千円		点字広報データ校正委託料			
使用料及び賃借料	751千円		編集用システム使用料66万4千円ほか			
備品購入費	1,338千円		編集用ソフト購入費(5年に1度)127万6千円ほか			
負担金、補助及び交付金	61千円		日本広報協会負担金4万2千円ほか			
合計	31,336千円					
現状の評価	活動指標		事業の成果を表わす数値	単位	H22年度	H23年度
	関連施策評価指標	施策評価指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度
当該シートに記載する事業のみで、達成される指標ではない。	必要な市の情報が入手できると感じている市民の割合	%	53.6	53.8	64.8	
	事業をめぐる課題	読者に興味を持って読んでいただける誌面づくりを進めること。				
今後の方向性、見通し等	<p>市では本年度からシティプロモーションの取り組みを進めていますが、その取り組みのベースとなりますが、市民の皆さんが川西というまちに誇りを感じていただけることと考えています。</p> <p>そのためには、広報誌などの媒体で川西の魅力をうまく情報提供するとともに、行政課題をご理解いただけるように問題提起する必要があります。そうすることで市民の皆さん一人ひとりがまちづくりの課題を自らの問題として捉え、もっと住みやすいまちづくりを進めるきっかけにすることができ、ひいては市民の皆さんの誇りを高めていただけることになると考えています。</p>					
比較参考例 <small>(他自治体での実施事業例等)</small>	全国広報コンクール上位入賞市(静岡県島田市、福岡県宮若市、宮城県登米市など)					
その他特記事項						
事業推薦理由 <small>(該当するものに☑を記入)</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 市民意見を取り入れることで業務課題の解消をめざす事業 市民を交えた検証が必要と思われる内部管理事業 民間委託・指定管理者制度・PFIの導入・民営化等(市民との協働を除く)の視点から業務の効率化・効果の向上が期待できる事業 上記には該当しないが取り上げてほしい事業		(理由) 興味をもって広報誌を読んでもらえるためのヒントなどについて、ディスカッションできればと思います。			

かわにし事業ディスカッション事業調書

市民生活の視点	つながり	政 策	関わる
施 策	市民の声を聴き、情報の共有化に努めます		
事 業 名	広報事業	所管部・課	総合政策部広報室
テ ー マ	魅力的な広報	作成責任者	室長 米田 勝也

現在までの 事業の沿革 (社会背景等)	事業開始年度：	根拠法令等：
	情報提供推進事業では、マスコミに対して情報提供を行うパブリシティ活動と、Webを利用した自主媒体による情報提供を行っています。 パブリシティ活動については、市政記者クラブに対する情報提供を中心に、継続して実施しています。 Webを利用した情報提供については、平成9年度にホームページを立ち上げ、平成20年度に現在のCMSを導入、今年度にはリニューアルを行うこととしています。また、昨年度から公式フェイスブックを立ち上げ、主にイベントについてタイムリーな情報提供を行っています。	

現在の事業概要	事業の目的	川西の魅力を市内外に広く伝え、市の認知度を上げること。 速報性をいかした行政情報の提供を行うこと。
	対象者及び対象者数等	対象者は市民、市外居住者(全国)、ホームページ閲覧者。 人数については不明。
	事業の実施内容	広報誌に比べWebを利用したホームページやフェイスブックについては、速報性と広域性、拡散性を重視したタイムリーな行政情報の提供を行っています。 広報誌で提供する情報は、行政が抱える課題を問題提起しながら、市民の皆さんが自らの課題として取り組んでいただけるように活字媒体で全戸配布をしていますが、Webで提供する情報は市民や閲覧者の皆さんがほしい情報、役立つ情報を検索していただき提供しています。
	実施手法 (該当するものに☑を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 指定管理又は業務委託 指定管理者・委託先の種類 (市外郭団体 地域(地縁団体等) NPO法人 民間事業者 その他()) 補助・支援 補助対象団体等の種類 (市外郭団体 地域(地縁団体等) NPO法人 その他()) その他 ()

コスト	平成25年度(予算)		内 訳 等		
	事業費	10,690 千円	事業費の内 嘱託職員	人	千円
	職員人件費	18,162 千円	事業費の内 臨時職員	人	千円
	合計	28,852 千円	職員構成	概算人件費 (平均人件費×従事職員数)	従事職員数
			従事職員	18,162 千円	正職員 2.0 人 再任用 人

事業費と職員人件費の合計 (財源内訳)	年度	総額(千円)	財 源 内 訳(千円)				
			一般財源	国県支出金	地方債	特定財源(都市計画税)	特定財源(その他)
	H 2 2 (決算)	26,521	25,223			1,298	
	H 2 3 (決算)	28,871	21,838	5,329		1,704	
	H 2 4 (予算)	26,786	21,960	3,271		1,555	
H 2 5 (予算)	28,852	27,297			1,555		

		節区分	予算額	説明等		
		平成25年度 事業費内訳	報償費	34千円	広報委員会講演講師謝礼	
旅費	10千円		普通旅費			
需用費	1,940千円		新聞購読料23万5千円、広報板修理88万2千円ほか			
役務費	168千円		プロパイダ料金6万2千円ほか			
委託料	7,730千円		CMS運営業務委託料432万9千円ほか			
使用料及び賃借料	808千円		CMSサーバー賃借料64万1千円ほか			
	千円					
	千円					
	千円					
合計	10,690千円					
現状の評価	活動指標	事業の成果を表わす数値	単位	H22年度	H23年度	H24年度
	関連施策評価指標 <small>当該シートに記載する事業のみで、達成される指標ではない。</small>	施策評価指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度
事業をめぐる課題	<p>市では本年度からシティプロモーションの取り組みをはじめますが、その取り組みの大きな要素となりますが、如何にして川西の魅力を拡散させていけるかということです。 シティプロモーションのホームページ等については、担当部署が作成予定ですが、そのリンク先となる市のホームページの閲覧者をもっと増加させていく必要があります。</p>					
今後の方向性、 見通し等	<p>ホームページについては、今年8月にリニューアルする予定で、現在、広報室と各所管のホームページ担当からなるプロジェクトチームで検討を重ねています。</p> <p>フェイスブックについては、カバー写真の変更や、源氏まつりなどのイベント時にライブ的にアップするなど、登録者を増加させるための工夫をしていますが、発想を転換したキャンペーンなどを実施してファンを増やしていく必要があると考えています。</p>					
比較参考例 <small>(他自治体での実施事業例等)</small>	<p>フェイスブックについて、丹波市が短期間で登録者を増やしています。登録させるために、フェイスブック上での市民参加型のイベントを開くなどの工夫をしています。</p>					
その他特記事項	<p>市ホームページのリニューアルを8月に控えています。7月には職員対象の操作研修会も開催予定となっております。</p>					
事業推薦理由 <small>(該当するものに☑を記入)</small>	<p>市民意見を取り入れることで業務課題の解消をめざす事業</p> <p>市民を交えた検証が必要と思われる内部管理事業</p> <p>民間委託・指定管理者制度・PFIの導入・民営化等(市民との協働を除く)の視点から業務の効率化・効果の向上が期待できる事業</p>		<p>(理由) 特にフェイスブックについては、登録者を増やす「しかけ」が必要と考えており、市民の皆さんからアイデアをいただき、実行することと、公開ディスカッションにより、参加・傍聴している皆さんに興味を持ってもらい登録者の増を期待するため。</p>			
	<input checked="" type="checkbox"/> 上記には該当しないが取り上げてほしい事業					